

インターバンクの声（2017年3月6日）

米連邦準備制度理事会 (FRB) のブレイナード理事が米国の利上げが「すぐに適切になりそうだ」との見解を先週 3/1 の講演で示したのに続き、週末にはイエレン議長も講演で「今月の政策金利の一段の調整が適切になる」と述べた。

さらにフィッシャー副議長も、月内の利上げに前向きな発言をしている他の高官と同じ考えを持っていることを明らかにした。

連邦公開市場委員会 (FOMC) メンバーの中で最もハト派とされているブレイナード理事が、委員会 2 週間前のタイミングで早期の利上げが適切だと述べたことで 3 月の利上げ観測が一段と高まったが、正副議長もブレイナード理事と同じ見解を示したことで、市場も月内の利上げをほぼ確実視しているはずだ。

こうした発言を受けた週末のニューヨーク市場は、ドル円が一時 114 円 70 銭台までドル買い・円売りが進んだが、115 円台乗せは難しそうだと感じたのか、多くの投資家が利食いと思われるドル売りに動き、終盤は 114 円割れまで調整が進んだ。今週も基本ドル買いで良いと思われるが、週末の米雇用統計の結果によっては、まさかの利上げ見送りの可能性も出てくるので要注意だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。